

台風に翻弄された屋久島の旅・宮之浦岳

斉藤 整紀

- 2017年10月26日(木)～29日(日)
- メンバー 村山隆(CL)・斉藤整紀
- 日程 26日 葛西(バス)5:10⇒羽田空港6:25(JAL)⇒鹿児島空港8:45(JAC)⇒9:25屋久島空港9:40(レンタカー)⇒白谷雲水峡P⇒苔むす森⇒太鼓岩⇒白谷層雲峡P(カー)⇒15:30安房・オーベルジュH(泊)
- 27日 オーベルジュH4:50(カー)⇒淀川登山口6:20⇒花ノ江河8:40⇒投石岩屋9:30⇒宮之浦岳11:30⇒投石岩屋⇒花ノ江河14:10⇒17:00淀川登山口(カー)⇒18:20H(泊)
- 28日 オーベルジュH7:40(カー)⇒屋久島空港(カー)⇒屋久杉自然館(カー)⇒環境文化村センター(カー)⇒15:00オーベルジュH(泊)
- 29日 オーベルジュH9:30(カー)⇒大川の滝～中間のガジュマル～尾之間温泉～千尋の滝～竜神の滝～トロキノ滝～安房港～枕状溶岩～宮之浦港(カー)⇒屋久島空港17:40(JAC)⇒鹿児島空港21:40(SNA)⇒23:00羽田空港23:30(バス)⇒新浦安(タクシー)⇒0:30葛西

10月26日(木) 屋久島白谷雲水峡 晴れ/雨
平成23年11月、松田氏リーダー他、5人、記録的な集中豪雨「スコール」で途中撤退を余儀なくされた山行のリベンジ企画。先週末台風21号が過ぎたため、今週は台風一過の好天を期待したが、何と、週中に22号が発生、今回の日程にぶつかる可能性覚悟での出発となった。

26日、羽田は良く晴れ、飛行機からの展望は抜群。ハヶ岳、南アルプス、乗鞍等は勿論、富士や御嶽山の上空からの映像シーンの様な眺め、感動した！鹿児島へ移動後の周辺の山も、開聞、桜島、霧島連山などはっきり望むことができた。

しかし屋久島に着くと、予報に反して、怪しくなってきた。島全体に雲がまとわりつき、白谷運水峡に足を踏み入れると小雨が落ちてきた。前回

は、さつき吊橋付近で折り返し、奥には足を踏み入れなかったが、今回は白谷山荘、苔むす森、太鼓岩と回った。さすが、「もののけ姫」がモデルにしたという苔むす森周辺は雰囲気がある。



しかし天気の下り坂は決定的で、絶景が期待された太鼓岩は、残念ながら霧に包まれていた。

安房のオーベルジュホテルは、名前の期待に反し、ビジネスホテル程度で、安いが、魚は美味。

10月27日(金) 宮之浦岳 雨/晴れ

曇天で朝まだ暗いうちにホテルを出たが、淀川登山口に着くまでに雨が落ちてきた。しかし6年前の豪雨と比べると、「普通の」雨である。駐車場は一杯で先端に止め、協力金千円を支払った。

まず上だけ雨具を着けて出かけた。少し上ると淀川小屋に至る。白人の若いカップルが弁当を食べている。娘の住むロンドンから来たという。そこから少しずつ雨脚が強まる。花之江河は雨に煙っていたが、豊かな秋の色が感じられた。

その後続くロープを下りた先の小さな渡渉箇所は6年前、膝上まで水があったし、投石平は滝になっていた。流水に抗して松田氏と投石原付近まで偵察に出て、退却を決めたものだ。ここからは未知の地で、かつ山が変わる。樹林帯が終り大岩をすり抜けた先に、投石岩屋があり、雨が凌げるため、ここで一服、弁当を食した。その後急登を凌ぎ、背の低い小笹に大きな岩を配した尾根を抜けると1935mの宮之浦岳の標識に出会う。



生憎の雨で、ずぶ濡れ状態で、展望もなく、ゆっくりする余裕はない。すぐさま来た道を下りて、また投石岩屋で休息をとって下山。6年前、投石平から滝となって襲われ、山行継続不能に陥った地元民が「スコール」と呼ぶ集中豪雨は何だったのか。今は普通の雨に濡れた大地だ！花之江河も木道が隠れるレベルだった水も、今回は「普通！」

雨に濡れた体を労り、最後に山小屋で休息を取って下山の途についた。すっかり雨具にも水が通り、靴もチャブチャブである。ホテルに戻ったら18時を超えていた。お風呂が有難い！

10月28日（土）屋久杉自然館他 暴風雨

今日は縄文杉ルート計画であったが無理！台風が近づき、朝から暴風雨で、朝食時にフェリー一全便欠航のアナウンス。「ヤバイ！」兎に角空港へ急げ！案の定、欠航に備えて、変更、キャンセル待ちの列が出来ていた。8時55分業務開始前から、欠航便のお知らせが続々掲示される。

JACは今日の最終便ながら明日への変更に応じてくれた。鹿児島からは他社のSNAだが、JACの女子職員は無償変更のアドバイスを下さり、明日の最終便への変更OK。

決定後は、美味しいトビウオ料理を頂き、屋久杉自然館、環境文化村センターなど雨に濡れない箱物施設を訪ねた。そして早めにホテルに入り、アルコールを楽しみつつ、台風の通過を願った。

10月29日（日） 暴風雨のち晴れ

南国の台風は通過しても、今度は北風が強い。チェックアウトギリギリまでホテルに居て、天気の良い好転を窺って観光に出かけた。安房は晴れてき

たが、南下して大川の滝を目指すと次第に風雨が強まり、雨さえ落ちてきた。安房地区と違い、道路は冠水している箇所や、ちぎれた木葉が散乱、木の枝が倒れ込んでいる箇所もある。屋久島も広く、様々な地域で天気も違う様である。

傘を差して、大川の滝に向かって驚いた。滝口へ向かう通路には水が上がり、滝は物凄い勢いで爆裂。村山氏曰く、「イグナスの滝だ！」村山氏は南米旅行経験者である。



次に、中間のガジュマルに回った。風雨が残る中、他にも見物人がいる。その先にあるフルーツガーデンは、台風一過で荒れていて、閉園。パッションフルーツは今回ダメ！それから前回、地元の爺さんに「熱くて止めた方がいい」と言われ、JRホテルのお風呂を勧められた町営の尾之間温泉に行った。古びたシンプルな温泉で、石鹸類も、牛乳類販売もなし。200円ではやむなし！

更に車で千尋ノ滝、竜神ノ滝、トローキノ滝と滝見物をハシゴして、安房港、枕状溶岩を見た後、船便も回復したトピッコ号の出発確認に宮之浦港へ回った。大勢の客が大荷物で乗り込んで行く。

それからレンタカーを返却、屋久島空港へ着いた。かなり遅れている。それよりも鹿児島空港の待ち時間が長かった。結局、羽田着が23時過ぎで、バスは葛西方面が終了、遠回りして、タクシー利用で、我が家に着いたのは日付が変わっていた。しかし予備日の日曜日のお蔭で何とか仕事には間に合った。村山氏が企画、運転を担当、飛行機の変更、ホテルの延長など手を尽くしてくれた。また共に南国の貴重な台風を体験できた。

「お疲れ様！お世話様！」

やはり屋久島の百名山は手強かった。（了）